

## 第2回3月 高1 レベル記述模試 (2021年3月14日実施)

## 採点基準 英語

3

高1 3B 3点×5=15点

設問 次の日本語に合う英文になるよう、空所に適する語を書け。1つの空所には英語1語が入る。

(1) 子供たちは、私が本を読み聞かせているうちに眠ってしまった。

My children fell asleep ( ) ( ) ( ) reading to them.

(2) 街に買い物に行くより、家でテレビを見ているほうが好きだ。

I ( ) ( ) TV at home ( ) going shopping downtown.

(3) この映画は両親がメキシコ出身の少年の実話に基づいている。

This movie ( ) ( ) on the true story of a boy ( ) parents are from Mexico.

(4) 去年の冬、エマは生まれて初めて雪を見た。

Last winter, Emma saw snow for the ( ) ( ) ( ) her life.

(5) これらのおもちゃは、子供だけでなく大人にも楽しまれてきた。

These toys have ( ) enjoyed ( ) just by children ( ) also by adults.

## 【基準】

各完答 大文字・小文字は不問。スペルミス・語形ミスは1箇所でもあれば不可(各-3点)。

(1)	while / as / when	I	was
(2)	prefer	watching	to / over
(3)	is	based	whose
(4)	first	time	in
(5)	been	not	but

※その他の表現でも、成立するものには個別に得点を与える場合がある。

**高1** 3C 10点×2=20点

設問 下線部(1), (2)を英語で表せ。

(1) First, 一晩中店を開けたままにしておくのはエネルギーの無駄です。

(解答例1) (First,) keeping stores open all through the night is a waste of energy.

(解答例2) (First,) it is a waste of energy to keep the store open all night.

(2) 私たちは働く人々のことをもっと考える必要があります。

(解答例) We need to think more about the workers.

**【基準】**

下記の区分に分けて配点。区分の配点を超えて減点しない。

大文字小文字は不問。末尾のピリオドも不問。

軽微なスペルミスは-1点。その他の語句レベルの誤りは1箇所につき-2点。

日本語に相当する意図が伝われば表現は広く認める。意味が伝わらない区分はその区分0点。

(1)

区分	配点	備考
一晩中	2点	(×) 冠詞・単複の誤りは-1点。 (×) 「晩」に evening は不可 (-2点)
店を開けたままにしておくのは	4点	(×) 冠詞・単複の誤りは-1点。
エネルギーの無駄です。	4点	(×) 冠詞・単複の誤りは-1点。

(2)

区分	配点	解答例
私たちは～する必要があります。	4点	(×) need を助動詞で用いている [=動詞の原形を続けている] 場合は-2点。
働く人々	2点	
～のことをもっと考える	4点	(×) 「もっと」の訳漏れは不可 (-2点)

4

## 高1・2共通

(2) (5点)

(2) 下線部(c) the proposal の内容を 40 字以内の日本語で具体的に説明せよ。句読点も字数に含める。

(解答例 1) 自分たちの町を環境にやさしいコミュニティーの模範として新たに作りなおすこと。(38 字)

(解答例 2) 町をただ元に戻すのではなく、環境にやさしい地域の実例にするという提案。(35 字)

## 【設問箇所】

The residents agreed with (c) the proposal and got excited.

「住民たちは(c) その提案 に賛同し、奮い立った」

## 【解答の根拠となる文】

(Instead of just restoring their town to be like the original one, the positive people wanted to create a completely new one.) They proposed making their new town an example of an eco-friendly community.

「(前向きな人たちは、ただ単に元のような町を取り戻すのではなく、完全に新しい町を作りたいと思った。) 彼らは自分たちの新しい町を環境にやさしいコミュニティーの模範となるものにしようと提案した」

## 【基準】

以下を必須項目とし、部分的な誤りは下に示す点数を減点。

● (5点) making (their new) town (an example of) an eco-friendly community に相当する内容。

「(自分たちの新しい) 町を環境にやさしいコミュニティー (の模範/例) にする」という趣旨が含まれていればよい。

※全体の趣旨として違うことを答えているものは、部分的に項目が含まれていても 0 点 (−5 点)。

※字数制限 (40 字以内) を守らないものは 0 点 (−5 点)。

※部分減点例

- ・ eco-friendly を「エコフレンドリー」とカタカナにしたものは−2 点。
- ・ その他、部分的に不適切な表現がある場合は、適宜−2 点。

## (3) (5点)

(3) 下線部(d)All these effortsのうち、第5段落で述べられている、地元のあるグループが行った取り組みの内容とその成果について、40字以内の日本語で述べよ。句読点も字数に含める。

(解答例1) グリーنزバーグで起きていることをウェブサイトで報告し、世界中から資金を集めた。(40字)

(解答例2) 町の取り組みを報告するウェブサイトを立ち上げて、世界中から資金を調達した。(37字)

## 【設問箇所】

(d)All these efforts have helped Greensburg become both richer, and friendlier to the environment.

「(d)こうしたあらゆる取り組みによって、グリーنزバーグは財政がより豊かになると同時に、環境にいつそうやさしくなった」

## 【解答の根拠となる文】

A local group started a website to report what was happening in Greensburg, which enabled the town to collect financial support from all around the world.

「地元のグループがグリーنزバーグで何が起きているかを報告するウェブサイトを立ち上げたことで、町は世界中から経済的な支援を集めることができた」

## 【基準】

以下の①～④を必須項目とし、部分的な誤りや不足は下に示す配分の点数を減点。

## ■取り組みの内容 [3点]

① (1点) started a website

ウェブサイト [ホームページ] を始めた [作った]

② (2点) to report what was happening in Greensburg

グリーنزバーグで起きていること [グリーنزバーグの出来事/様子] を報告する [伝える/紹介する] (サイト)

## ■その成果 [2点]

③ (1点) enabled the town to collect financial support

財政的支援 [資金援助] を得た (お金を集めた [資金を得た] ことが述べられていけばよい)

④ (1点) from all around the world

世界中から

※全体の趣旨として違うことを答えているものは、部分的に項目が含まれていても0点(−5点)。

※字数制限(40字以内)を守らないものは0点(−5点)。

※その他、必須項目以外で不適切な表現がある場合は、適宜−2点。

5

## 高1・2共通

(1) (3点)

(1) 下線部(a)はどのようなことか。20字以内の日本語で具体的に述べよ。句読点も字数に含める。

(解答例1) 犯罪捜査に指紋を利用すること。(15字)

(解答例2) 犯人の特定に指紋を用いること。(15字)

## 【設問箇所】

Three men, working in three different areas of the world, made (a)this possible.

「世界の異なる3つの地域で取り組んでいた3人の男が、(a)これを可能にした」

## 【解答の根拠となる文】

However, no one used fingerprints in crime work until the late 1880s.

「しかしながら、1880年代後半まで犯罪捜査に指紋を利用する人は誰もいなかった」

## 【基準】

以下を必須項目とし、部分的な誤りは下に示す点数を減点。

● (3点) use fingerprints in crime work に相当する内容。

「犯罪捜査〔犯人探し〕に指紋を使う」という趣旨が含まれていればよい。

\* 「指紋」がないものは0点(−3点)。

\* 「フィンガープリント」とカタカナ書きのものも0点(−3点)。

※全体の趣旨として違うことを答えているものは、部分的に項目が含まれていても0点(−3点)。

※字数制限(20字以内)を守らないものは0点(−3点)。

※部分減点例

・ crime work の意味があいまいであったり、やらずれているものは−2点。

(例) 「犯罪の仕事」−2点, 「殺人犯探し」−2点。

※その他、必須項目以外で不適切な表現がある場合は、適宜−2点。

## (3) (3点)

(3) 下線部(b)はどういうことか。20字以内の日本語で具体的に述べよ。句読点も字数に含める。

(解答例1) 削り取った指紋が元通りに再生した。(17字)

(解答例2) 取り除いたのと同じ指紋が再び現れた。(18字)

## 【設問箇所】

(b) They did. (= The fingerprints (he shaved off) grew back the same.)

「(b)指紋は同じように再生した」

## 【解答の根拠となる文】

He also wondered, "Can you change your fingerprints?" He shaved the fingerprints off his fingers with a razor to find out. Would they grow back the same?

「彼はまた、『人は指紋を変えることができるのだろうか?』と思った。彼はそれを明らかにするために、かみそりで自分の指から指紋を削り取った。指紋は同じように再生するだろうか?」

## 【基準】

※They did. (指紋は同じように再生した)

以下の①を必須項目とし、②、③の部分的な誤りは下に示す点数を減点。

●The fingerprints he shaved off grew back the same.に相当する内容。[3点]

① (必須) The fingerprints grew back 「指紋が現れた/再生した」

② (1点) he shaved off 「削り取った/そぎ落とした/取り去った」

③ (1点) the same 「元通りに/同じ」

\*①の誤りは0点 (-3点)。「フィンガープリント」とカタカナ書きは0点 (-3点)。

\*①ができていないものについて、②、③の誤り・欠如は各-1点。

※字数制限 (20字以内) を守らないものは0点 (-3点)。

※その他、必須項目以外で不適切な表現がある場合は、適宜-2点。

## (4) 代名詞 (ones) が指すもの (3点)

【解答】 fingerprints

【基準】 別解なし、部分点なし (スペルミス、語形ミスも不可)、大文字・小文字は不問

## (5) 語順整序 (3点) [完答]

【解答】 collections・identify

【基準】 別解なし、部分点なし (スペルミス、語形ミスも不可)、大文字・小文字は不問

## (7) (6点)

(7) 下線部(Ⓐ)を和訳せよ。

(解答例 1) 驚いたことには、互いに 6000 マイル離れた 2 人の男がほぼまったく同一の指紋を持っていた。

(解答例 2) 驚くべきことに、お互いに 6000 マイル離れている 2 人の男がほぼ完全に同じ指紋を持っていたのだ。

## 【下線部】

Amazingly, the two men who were 6,000 miles away from each other had fingerprints that were almost exactly identical.

●次の区分に分けて配点。区分の配点を超えて減点しない。

区分	配点	備考
① Amazingly, 驚いたことに (は)	1 点	・文修飾の副詞であることがわかっていないものは不可。
② the two men 2 人 (の男) が	1 点	・had の主語であることがわかっていないものは不可。
③ who were 6,000 miles away from each other (互いに) 6000 マイル離れた	1 点	・the two men を修飾する関係代名詞節であることがわかっていないものは不可。
④ had fingerprints 指紋を持っていた	1 点	・fingerprints に「フィンガープリント」(カタカナ) は不可。
⑤ that were almost exactly identical. ほぼ (まったく) 同一の	2 点	・fingerprints を修飾する関係代名詞節であることがわかっていないものは不可 (-2 点)。 ・almost の訳漏れのみ -1 点。その他の語句の誤りはすべて -2 点。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同等のことを言っていれば表現は広く認める。</li> <li>・構造を理解した上での意識は認める。</li> </ul>		